

令和4年度年度北谷高等学校国語科シラバス（授業の目標・計画書）

教 科	科 目 名	単位数	学 年	必履修・選択	対象クラス
国 語 科	応用国語	2	3	選 択 B	1 組

1 目 標

- (1) 様々なテーマを扱った題材の読解を通して、社会で問題となっている事象に関心を持つ。
- (2) 語彙力を高め、言語感覚を磨く。
- (3) 課題文について制限字数内で要約する力及び各設問の要求に応える力を身に付ける。

2 学習方法及び履修上の注意

- (1) 定期テスト … 学期毎に中間考査・期末考査を実施する。出題は授業内容を主とする。
- (2) 提 出 物 … 授業の進度に応じ、プリント教材・課題作品・ノートなどを提出させる。
- (3) 授 業 … 出席状況・学習に臨む態度・発問に主体的に取り組む姿勢で総合的に判断する。
- (4) 小 テ ス ト … 教材や状況に応じて、内容理解や音読確認のための小テストを実施する。

3 使用副読本

- ・「論理的に読む 論読表論文」（浜島書店）
- ・全国大学センター試験過去問 など

4 評価の観点・評価方法

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
関心・意欲・態度	・表現に対する関心を深め、国語を尊重し向上を図り、すすんで表現して、互いに伝え合おうとしているか。 ・課題に積極的に取り組み、また、人の発言を良く聞くとともに、自分の考えを発言しようとしているか。	・出席状況 ・取り組む姿勢 ・提出物 ・自己評価及び相互評価
話す・聞く能力	・積極的に「話すこと・聞くこと」の学習に取り組んでいるか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、論理的に話したり的確に聞き取ったりできるか。 ・グループ活動に参加し、決められた役割を果たしてグループ活動に貢献しているか。	・取り組む姿勢 ・定期考査 ・発言の仕方や内容 ・レポート ・音読や朗読 ・自己評価及び相互評価
書く能力	・主体的に「書くこと」の学習に取り組んでいるか。 ・文章を客観的に読み、論理的に読解し、適切に要約することができるか。	・取り組む姿勢 ・定期考査 ・提出物 ・自己評価及び相互評価
読む能力	・主体的に課題文を「読む」姿勢を鍛えているか。 ・文章を読むことでより適切な表現をするために、自分の考えをまとめたり深めたりできるか。	・定期考査 ・音読や発言内容 ・小テスト ・提出物 ・自己評価及び相互評価
知識	・表現に役立てるための音声、文法、語彙、語句、漢字などを理解し、積極的に知識を身に付けているか。 ・漢字や語句に対する理解を広げる努力を主体的に行っているか。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・自己評価及び相互評価

5 授業計画

学 期	月	時 数	評 論 文 野	教 材	学 習 指 導 目 標	定 期 テ ス ト	小 テ ス ト	学 習 態 度	提 出 物	発 表
一	4	1		オリエンテーション	今学年度の学習方法について					○
		3	概説	黒崎政男 『哲学超入門』	対比の関係をつかむ	○		○	○	○
			情報	原研哉『大量発話時代と本の幸せについて』	時間軸での比較①	○		○	○	○
	5	6	情報	港千尋『書物の変ーグーグルベルクの時代』	時間軸での比較②	○	○	○	○	○
			概説	平山郁夫 『絵と心』	対比の関係をつかむ	○		○	○	○
			芸術	隈 研吾 『新・建築入門』	共通点と相違点①	○		○	○	○
	6	8	芸術	高階秀爾 『20世紀美術』	共通点と相違点②	○		○	○	○
			概説	中村桂子 『自己創出する生命』	論点をおさえる	○	○	○	○	○
			科学	池内 了 『ソフトランディングの科学』	筆者の提言①	○		○	○	○
			科学	村上陽一郎『人間にとって科学とは何か』	筆者の提言②	○		○	○	○
	7	6	科学	小林傳司『トランス・サイエンスの時代』	筆者の提言③	○		○	○	○
			概説	丸山圭三郎 『言葉と無意識』	論点をおさえる	○	○	○	○	○
			言語	中村 明 『現代名文案内』	常識への問いかけ①	○		○	○	○
二	9	9	言語	田中克彦 『言語学とはなにか』	常識への問いかけ②	○		○	○	○
			言語	野矢茂樹 『語り得ぬものを語る』	常識への問いかけ③	○		○	○	○
			概説	中西 進 『亀が鳴く国』	具体例に着目する	○	○	○	○	○
			文化	前田英樹 『独学の精神』	具体例を用いた説明①	○		○	○	○
	10	9	文化	山折哲雄 『日本文明とは何か』	具体例を用いた説明②	○		○	○	○
			文化	山崎正和 『世界文明史の試み』	具体例を用いた説明③	○		○	○	○
			概説	大澤真幸 『理論社会学』	言葉の意味をつかむ	○	○	○	○	○
			社会	内山 節 『新・幸福論』	本文での意味をとらえる①	○		○	○	○
	11	9	社会	佐伯哲思 『経済学の犯罪』	本文での意味をとらえる②	○		○	○	○
			社会	若林幹夫 『未来の社会学』	本文での意味をとらえる③	○		○	○	○
			概説	市川 浩 『身の構造』	展開を意識する	○	○	○	○	○
			身体	内田 樹『疲れすぎて眠れぬ夜のために』	論の展開をおさえる①	○		○	○	○
	12		身体	河野哲也 『暴走する脳科学』	論の展開をおさえる②	○		○	○	○
			共通 試験	過去問（評論文）（小 説）	文章の構成上の特徴をつかむ 文章の表現の特徴をつかむ		○	○	○	

	1	8	概説	竹田青嗣 『自分を生きるための思想入門』	展開を意識する	○	○	○	○	○
			思想	藤田省三 『ナルシズムからの脱却』	効果的な引用・援用	○		○	○	○
	2	4	思想	鷲田清一 『哲学の使い方』	効果的な引用・援用	○		○	○	○